

会員各位

平成7年10月吉日

谷津坂東部町内会長

高成田 実

東部町内会30年の歩み

常日頃は皆様方の絶大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、今年には町内会が創立されて30年を迎えることとなりました。当地域は30数年前迄は一帯が起伏に富んだ山林で、現在の検疫所迄海が迫っており大変風光明媚な丘陵でした。

昭和33年ごろ西武鉄道(株)が当地域の住宅地開発に着目し、当時としては比較的大規模な造成を行い昭和36~37年にかけて宅地の販売を開始しました。

当時は開発手法も未熟な上、法制度も整備されていないため当地域は西柴自治会や、能見台地区に見られるような公園や公益用地も確保されていませんでした。

昭和38年頃からぼつぼつ家が建ち始めましたが40年ごろでも未だ20数軒程しか住宅がありませんでした。

当時は電話もなく、防犯灯も未整備で住民の日常生活は大変不便なものでした。昭和40年に磯子電話局に親子電話の回線に余力があるとの情報で、3班に住んでおられた長谷川 猛氏(故人)が中心となり住民有志と電話局に陳情に出かけました。

これを契機として町内の防犯灯や、ゴミ問題を話し合う場として東部町内会が発足したのが、町内会の始まりと聞いています。

勿論初代会長として長谷川猛氏が就任され町内の取りまとめに大変ご尽力されました。

昭和45年から3班の山本文男氏(故人)が2代目会長に就任、7年間の長きにわたり町内会発展のため努力されました。特に谷津坂会館の建設については発起人の一人として多大の貢献をされました。

谷津坂会館は5町内会が西武鉄道（株）より土地約80坪を無償で借り受け、5町内会（東部、西部、南部、北部、望洋台）の共有の会館です。記録によると昭和45年11月23日地鎮祭、46年2月18日竣工建築資金として400萬円を5町内会の会長が連帯して住友銀行より借り入れ、3年間で一所帯当たり月額200円を徴収して建設されたものです。

当時の東部町内会の所帯数は75世帯でした。（平成7年11月現在161世帯）

昭和52年から57年にかけて1班の岩崎覚氏（故人）が5年間の長きにわたり地域の発展にご尽力されました。特にこの間連合町内会長も引き受けられました。

昭和58年～59年にかけて2班の岩月鉄夫氏が4代目会長に就任され長浜トンネルや、長浜野鳥公園建設計画等が次々に具体化、地域を取りまく環境保全のため積極的に行政にたいして働きかけにご努力されました。又6班の翠泉郷の開発が実施されたのもこのころです。

昭和60年から3班大庭公一氏が会長として岩月前会長時代から引き続き環境対策に積極的に発言され、又連合町内会長として東部地区全体の環境整備に尽力され、今日見られるような良好な住環境実現に貢献されました。更に野口記念公園建設計画に取り組みられ地域の要望を強く行政に働きかけ、今年11月着工の運びに至りましたことはご同慶の至りです。又町内会の組織を確立し規約の制定、諸規定の整備にも尽力されました。遅れていた町内の下水道工事を積極的に行政に働きかけ実現したのもこの頃です。

平成3年1班の鈴木通也氏が会長に就任され、引き続き長浜トンネルや長浜野鳥公園にかかる環境問題にご努力されました。又町内の防犯灯や掲示板、案内板の設置や道路ミラー等きめ細かな環境問題に尽力されました。

平成5年から私が微力ながら会長をお引受けし今日に至っております。私達は縁あってこの地を終生の住みかと定め皆様方と長い年月をご一緒に生活しておりますが、今日見られるような良好な住環境が歴代の会長

さん方のご努力の賜物によってもたらされたものと、感謝に絶えない次第です。

去る8月の定例役員会に於いて、町内会創立30周年を記念して何か行事を実施してはとの提案が出され全員賛成を得ました、早速企画委員会を9月23日開催しました。

詳細についてはあらためてご連絡申し上げますが、予定として来たる11月11日(土)6班翠泉郷の道路及び空地を利用してフリーマーケット、模擬店(おでん、焼き鳥、焼きそば、餅つき、おしるこ、豚汁、その他飲み物)その他楽しい企画を考えています。

当町内会が単独で行事を実施するのは30年目にして初めてのことで是非賑々しく実施したいと思いますので、会員各位の多数ご参加を心よりお待ち申し上げます。

阪神大震災の生々しい経験は、地域の連帯が如何に大事かを教えて呉れました。私はこの30周年行事を通して住民の一体感の実現に一步でも近づければ幸いと思っております。

以上